

陳情第110号	受理年月日	令和4年8月26日
付託委員会	教育文化委員会	
件名	小森江西小学校と小森江東小学校の統合の白紙撤回について	
要旨	<p>令和4年5月の保護者説明会で回答されたことと、8月の保護者説明会で回答されたことはほぼ同じであり、都度質問、要望が出ていることの回答は、統合ありきの抜粋された質問にのみ回答し、都合の悪いことは回答していない。</p> <p>建設コンサルタント、防災アドバイザーの調査書等、再三開示要求をしているが、一向に提示されない。ハザードマップや避難所問題などの安全面は、説明会のたびに不安が募る。</p> <p>門司区内の小学校17校のうち、災害種別を全てクリアするのは8校のみである。改修後も災害種別を全てクリアできず、防災面から懸念される事項については、市は確実に安全性が担保されることを保証した上で、学校建設を行う義務があると考えます。</p> <p>5月に統合準備委員会の会議の在り方、運営の妥当性に関する陳情をした際の教育文化委員会での質疑応答に関しても不信感しかなく、納得できるものはなかった。</p> <p>教育委員会は事務局の立場であり、統合準備委員会の中で決定したことに対して粛々と進めていくと発言があったが、準備委員会の母体となる保護者や地域住民の方が明らかに全く合意ができない、納得できない、白紙撤回を求めると直接声を上げているのに、なぜ計画を進めようとしているのか。保護者の約8割、さらには未就学児15名の保護者も、統合の白紙撤回の意思を表示している。</p> <p>公正であるべき教育委員会が、見えないレールを敷いているのではないかと疑わざるを得ない。</p> <p>合意をもって解決策を見いだしていくべき議論の前提が崩れているのではないかと。</p> <p>保護者の意見を無視し、強硬に推し進められる統合は納得できない。</p>	

(続 く)

については、小森江西小学校と小森江東小学校の統合の白紙撤回を求める。